

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
TBSラジオ『メイコのいきいきモーニング』取材紹介施設
介護保険事業者指定 一七〇四〇一三八一
350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一
特定非営利活動法人 福音の園 埼玉事務局
☎049・230・1111(Fax)230・1112

ご家族の声

頬を両手で包み、迎えてくれる母

母が「福音の園」に入所して二年八ヶ月。
毎週一回の面会時には、父や私の頬を両手で優しく包みニコニコと満面の笑みで迎えてくれます。我慢強く、内面を悟られるのを恥かしたがった母が、今では少女のように鼻歌を口づさみ、喜んだと思ったらブンブン怒り、百面相のように感情を露わにしています。おでことおでこをコツンとくっつけたり、



甘えたりする仕草に、本当は理性の下にこんな顔が隠されていたんだなと驚かされます。母が認知症を発症した初期の混乱、不安、焦り、本人はもとより家族も翻弄され続けた日々が遠い昔のように、今の母の表情は穏やかで、平安に満ちています。この世に完全な天国は無いけれど、一番弱く小さき者が尊ばれ、大切にされる「福音の園」に、私は天国の先取り、天国のひな型を見る思いです。

(J・O 娘・R・O)

研修者の声

羨ましい限り、閑静な立地

公園、田畑などに囲まれたとても閑静な立地、羨ましい限りです。施設内も木のぬくもり(床、ベッド)、パッチワークの装飾リビングを中心にとてもオープンな空間。過ごさせていただく中での時が、あたたかく、ゆつたりとしていて利用者様お一人一人の表情や言葉にもそれが表れているなあと思いました。ホーム長さん、スタッフの方々が理念である「心に触れる優しい支援」、それを日々実践なさってらっしゃるからなのだろうと痛感いたしました。(T・A)

私共のホームにない雰囲気を感じて

初日、農園の見事な数々の作物には驚きました。特にアーチ型のスイカには感動致しました。落ち着かれた雰囲気の中で利用者様と楽しくお話しされながら、食事介助をされていらつしやるスタッフの皆様もゆつたりとされ、私共のホームにはない雰囲気を感じました。参考にさせて頂きたい所は沢山ありますが、まずは、時間を気にせず、余裕を持って利用者様と過ごして行きたいと再認識致しました。

(Y・Y)

穏やかな時間の流れの中で

私が研修に何った三日間、福音の園にはいつも穏やかな時間が流れていました。その穏やかな時間は利用者様お一人おひとりにあつた時間が流れるようにスタッフがしっかりと配慮していることにより作られている時間でした。散歩に出掛けられる時もゆつくりと優しい口調で話し掛け、お年寄りのペースに合わせいつまでも待たれる。心地よい環境の中で歩きたくなる心を引き出す介護をされていました。動きたくなくなる境作り、生活リハビリの実践でした。

福音の園の介護は、当たり前のことを当たり前に実践されていることにあると感じました。ありがとうございました。(J・K)

践されていることにあると感じました。ありがとうございました。(J・K)

ボランティア体験プログラム・参加者の声

「ありがとう」と何回もお礼を言われ

私はグループホームというものがどんなものなのか知りませんでした。スタッフと利用者さんの関係も想像していたのとは違って「大家族」のようでびっくりしました。

利用者さんにお茶をあげたりするだけで、「ありがとう。ありがとう」と、何回もお礼を言われ、何かうれしくなりました。スタッフの方々がいつも笑顔で接しているから、利用者さんも自然とそういう言葉が出て、その言葉があるからスタッフの方々も笑顔でいられるのだなと。信頼関係がすごいなと思いました。(高校一年生 T・N)

親や兄弟の大切さを教わって

この3日間、色々な事を学び、将来の夢をもっと考えるきっかけになったと思います。

1日目は、車イスのKさんと名前が似てることがきっかけで沢山のお話ができました。

3日目は、Kさんに「若い子と話せることが幸せ」と言っていただけで本当うれしかったです。そして、親や兄弟の大切さや、利用者さんの昔の話を聞いて色々勉強になり忘れられない体験になりました。(高校一年生 A・F)

.....

当園「園芸療法活動」を学びたいという「グループホーム」に松戸の園「職員七名様(二班)と、川越市社会福祉協議会主催「ボランティア体験プログラム」で参加された高校生の方の声を掲載させていただきました。(ホーム長 杉澤卓巳)

御礼

メロン、コーン 富樫 農園様(北海道共和町)
ブドウ A・I様(長野県松本市)